

## 政 策

## 林野庁

## 森林の健康と癒し効果に関する調査

林野庁はこのたび、「森林の持つ健康と癒し効果に関する科学的実証調査」の結果を公表した。調査結果によると都市環境にいる人に比べて森林環境にいる人では、ストレス細胞が減少するためリラックスした状態になり、またガン細胞やウイルス感染細胞を排除するナチュラル・キラー(NK)細胞が活性化するなど、森林が健康に与える有益な効果が実証された。林野庁ではこの調査結果をもとに、森林を活用した健康増進の取組を一層推進させたい、としている。



## 「森林の健康と癒し効果に関する科学的実証調査」の結果について

## 1、調査の趣旨

近年、急速な高齢化の進展、国民の健康に対する関心の高まり等に伴って、森林の有する保健休養機能に対するニーズが高まっており、森林の持つ健康と癒し効果を活用した健康づくりのための森林空間の利用を推進していくことが期待されている。

一方、森林浴の効果については、最近行われた医学的な実験においても、血圧を下げる効果やストレスホルモンの分泌を抑制する効果があることが示唆されるなど次第に明らかになりつつあるものの、限られたデータや知見しか得られていないのが現状である。

このため、森林を活用した健康増進の取組を推進するため、当庁において、初めて実証調査を行ったものである。

## 2、調査報告書の概要

## (1) 調査の概要

健康な男女20人を被験者として、都市環境(岐阜市中心部)と森林環境(岐阜県馬瀬村内)の下で、測定

条件(被験者、測定時間、運動量)が同一になるように設定し、運動の前後に血液採取及び気分プロフィール検査(POMS)を行い、データの分析を行った。

## (2) 血液検査の結果

免疫機能を有するナチュラル・キラー(NK)細胞の活性が有意に上昇  
リンパ球の一つで血液中を巡回し、癌細胞やウイルス感染細胞を排除すると言われているNK細胞の活性度が、都市環境下では運動の前後で変化が認められなかったが、森林環境下では運動を行うことにより、有意に高まることが認められた。

ストレスホルモンであるコルチゾール( )が有意に減少

都市環境下と森林環境下における運動前の血中のコルチゾールの量を比較したところ、森林環境下においては、都市環境下と比べ、有意に少ないことが認められた。

## (3) 気分プロフィール検査の結果

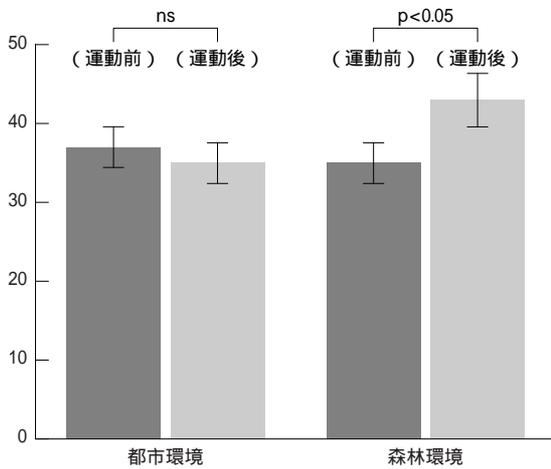
森林環境下に居るだけで都市環境に比べてリラックスした状態(「緊張不安」、「抑うつ」、「落ち込み」、「怒り 敵意」、「活気」、「疲労」及び「混乱」)の全ての項目で気分が有意に向上)となり、さらに森林環境下で運動を行うことにより、一層リラックスした状態になることが認められた。

## 3、今後の活用について

本調査結果については、現在立上げ準備中である「森林セラピー研究会」による森林療法のもと「らす生理

政 策

図1 都市環境と森林環境における運動前後のNK細胞活性の変化



ns: 有意差なし

図2 都市環境と森林環境におけるNK細胞活性の変化(差異の差)

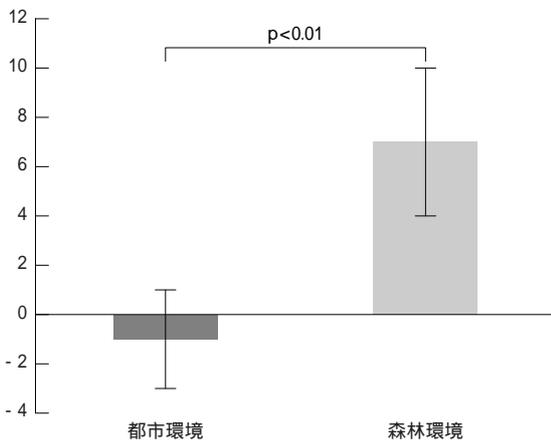
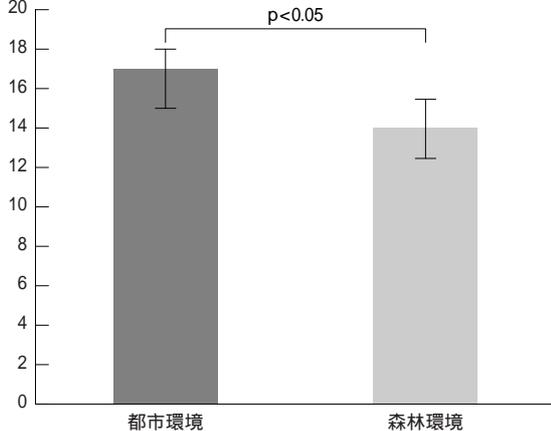


図3 都市環境と森林環境における運動前のコルチゾール量の比較



資料  
調査結果の概要

的、心理的効果の医学的な解明に向けた取組において活用するとともに、都道府県等にも配布し、今後当該分野の研究が一層推進することを期待する。

なお、平成16年3月30日(火)に開催した「森林セラピー研究会」の設立記念公開シンポジウム「健康・医療・教育と森林セラピー」においても今回の結果を発表した。

(1) 血液検査

都市環境と森林環境における運動前後のNK細胞活性の変化をみると、都市環境では有意差が認められなかったが、森林環境下で運動(森林浴)を行うことにより、NK細胞活性が有意に高まった。(p<0.05) 更に、都市環境と森林環境における

(2) 気分プロフィール検査(POMS)

都市環境と森林環境における運動前の気分の状態を比較したところ、6項目のうち「緊張」「不安」、「抑うつ」「落ち込み」、「怒り」「敵意」、「疲労」及び「混乱」の5項目で、森林環境においては都市環境に比べて、気分が有意に向上していることが認められた。なお、「活気」については、有意差が認められなかった。

運動前後のNK細胞活性の変化(差異の差)をみると、森林環境下におけるNK細胞活性の変化(差異の差)が有意に大きかった。(p<0.05)

都市環境と森林環境における運動前の血中のコルチゾールの量を比較したところ、森林環境においては都市環境に比べて、コルチゾールが有意に少なかった。(p<0.05)

これらの調査結果から、森林環境に居るだけでコルチゾール(ストレスホルモン)が減少し、更に、森林環境下で運動(森林浴)を行うことによりNK細胞の活性が高まること示唆された。

都市環境における運動前後の気分の状態の変化をみると、6項目のうち、「活気」を除く5項目で、運動を行うことにより、気分が有意に向上することが認められた。

森林環境における運動前後の気分の状態の変化をみると、6項目のすべてで、森林環境下で運動(森林浴)を行うことにより、気分が有意に向上することが認められた。特に、「活気」については、都市環境では有意差が認められなかったが、森林環境では運動を行った後に得点が有意に上昇し、躍動感が高まった。

これらの調査結果から、森林環境に居るだけで都市環境に比べて

「疲労」及び「混乱」の5項目で、森林環境においては都市環境に比べて、気分が有意に向上していることが認められた。なお、「活気」については、有意差が認められなかった。

都市環境における運動前後の気分の状態の変化をみると、6項目のうち、「活気」を除く5項目で、運動を行うことにより、気分が有意に向上することが認められた。

森林環境における運動前後の気分の状態の変化をみると、6項目のすべてで、森林環境下で運動(森林浴)を行うことにより、気分が有意に向上することが認められた。特に、「活気」については、都市環境では有意差が認められなかったが、森林環境では運動を行った後に得点が有意に上昇し、躍動感が高まった。

これらの調査結果から、森林環境に居るだけで都市環境に比べて

「疲労」及び「混乱」の5項目で、森林環境においては都市環境に比べて、気分が有意に向上していることが認められた。なお、「活気」については、有意差が認められなかった。

都市環境における運動前後の気分の状態の変化をみると、6項目のうち、「活気」を除く5項目で、運動を行うことにより、気分が有意に向上することが認められた。

森林環境における運動前後の気分の状態の変化をみると、6項目のすべてで、森林環境下で運動(森林浴)を行うことにより、気分が有意に向上することが認められた。特に、「活気」については、都市環境では有意差が認められなかったが、森林環境では運動を行った後に得点が有意に上昇し、躍動感が高まった。

これらの調査結果から、森林環境に居るだけで都市環境に比べて

POMS(Profile of Mood States)

米国で開発された気分を評価する手法。質問紙法の一つで、「緊張不安」、「抑うつ」「落ち込み」、「怒り」「敵意」、「活気」、「疲労」及び「混乱」の6つの気分尺度を同時に測定できる。

情 報

カプセル Now & New

「豚サガリの元祖の町」北海道 上富良野町を宣言

約25、000頭の豚が飼育されている町では、町民有志が「豚サガリの元祖の町」宣言を行った。サガリは豚の横隔膜の一部で、あっさりした味が特徴。焼き肉の材料として人気が高まっている。町はホームページで豚サガリのレシピを掲載するなど、PRに努めている。

子ども支援ネットワーク 宮城県 矢本町 会議を設立

町は、子どもの支援サービスを強化するため、「子ども支援推進協議会」と「子ども支援ネットワーク会議」を設立した。協議会は町長、教育長などで構成し、ネットワーク会議は協議会の下に実務者などで組織。子どもたちの総合的な支援策を検討し、施策等に役立てていく。

「中山義秀文学賞」の 福島県 大信村 選考を公開

村出身の中山義秀にちなみ、歴史小説の登竜門として「中山義秀文学賞」を設けている村は、第九回目に当たる同賞の選考を初めて一般公開した。多くの若い世代に文学に関心を持ってもらうのがねらい。約1200人の聴衆の前で、竹田真砂子氏の『白春』が選ばれた。

ネイチャーガイド 山梨県 富土河口湖町 ツアーを実施

町は、町公認ガイドの解説を聞きながら青木ヶ原樹海の魅力を

を楽しんでもらう有料のネイチャーガイドツアーを平成16年度から実施する。それに先立ち、講義とフィールドワークの講座を1月から3月にかけて計5回開講して公認ガイドを養成し、ツアーに備えた。

富山県 井波町

町は、清潔なまちづくりと生活環境の保全などを目的に総合的な美化条例を施行した。条例では町や町民、事業者、土地所有者の責務を定め、空き缶やたばこの吸い殻の投げ捨て禁止や、ベットのふんの回収などを規定。美化活動への自主的な参加と協力を求めている。

都市計画税の税率を 愛知県 長久手町 引き下げ

町は、推進していた市街化区域内での下水道整備が平成16年度で一段落することから、事業費に充てていた都市計画税の税率を緩和できると判断し、現行の0.3%から0.25%に引き下げた。都市計画税の税率変更は昭和53年度以来26年ぶりになる。

「本のちよきん通帳」を 京都府 園部町 発行

町は、町民の読書意欲を高めるため、町立図書館の利用者に「本のちよきん通帳」を発行している。通帳には、本を借りた日付と冊数、本の定価と累計金額が記録される。中学生までの希望者には無料で作成し、高校生以上には1000円の手数料で発行する。

「巨石の村」のPRに努めている 奈良県 山添村

村は、村内に点在する巨石群の所在地や巨石にまつわる「磐座（いわくら）」について解説した「イワクラまっぷ」を五干部作製した。観光客に巨石に対する興味を高めてもらうのがねらいで、役場など村内公共施設で無料配布している。

町の公用車で高齢者の 島根県 佐田町 外出を支援

町は、町の公用車を使って、町内外に限らず通院や買い物など、高齢者の外出を支援するサービスを行っている。対象者は、70歳以上で、自宅に車がない独居か夫婦だけの住民税非課税世帯。一時当たり1000円の運営協力料と1km当たり10円のガソリン代が必要となる。

まちづくり基本条例を 岡山県 大佐町 施行

町は、町民主体のまちづくり推進に向け、「まちづくり基本条例」と「まちづくり審議会設置条例」を施行した。基本条例ではまちづくりでの町民の権利と責務などを明記し、審議会設置条例では町民の意見などを町政に反映するための審議会の設置について規定している。

企業誘致促進に条例を 山口県 小郡町 施行

JR新山口駅南地区を「小郡業務拠点地区」に指定して土地区画整理事業を進めている町は、企業誘致条例を施行した。

立地奨励金などを盛り込み、新設事業所の固定資産税の40%を10年間均等分割で交付するなど支援策を用意し、企業誘致に取り組んでいる。

町独自で工業団地を 熊本県 菊陽町 造成へ

町は、半導体関連企業などの誘致を図るため、県の企業向け工業団地「セミコンテクノパーク」の隣接地に町独自の工業団地「原水工業団地」（仮称）を造成することにした。平成17年度に着工し、18年度分譲開始を目指していく。

中学校跡地を宅地として 大分県 宇目町 造成

町は、定住促進のため、統合によって廃校となった町立重岡中学校跡地を宅地として造成し、平成17年度から定住を条件に格安で分譲する。体育館は町営屋内運動場として残り、校庭や校舎跡地約18、000㎡に18区画を造成していく。

不法投棄の情報提供者 宮崎県 佐土原町 に報償金を支給

町は、ごみの不法投棄を住民の監視で防止していくため、不法投棄防止条例と同条例施行規則を制定した。環境保全に影響を与える一般廃棄物や産業廃棄物、家電製品等の不法投棄の情報を提供してもらい、投棄者が判明した場合情報は情報提供者に一件5、000円の報償金を支給する。

カプセル Now & New

# 「児童福祉週間」について

厚生労働省

期間

平成16年5月5日(水)から

5月11日(火)

標語

「広げよう 子育て支える」

地域の輪

江島 昭雄さん(北九州市)の作品

次代を担う子どもが健やかに生ま

れ育つことは国民すべての願いであり、またそのような環境をつくることは国民の使命でもあります。

しかし、近年の児童を取り巻く環境は、少子化の進行や児童虐待の増加など大きく変化しており、家庭や地域における子育て機能が低下する中で、夢や希望を持ちながら子育てのできる環境を整備することは、社

会全体として取り組まなければならない課題となっています。

特に、昨年成立した「次世代育成支援対策推進法」等により、本年度中に国、地方公共団体、企業等が一体となって、具体的な児童の健全育成や地域における子育て支援等の取り組みを推進するための行動計画を策定することとなっています。

このような観点から、5月5日の「こどもの日」を中心とした児童福祉週間は、行政、家庭、学校、福祉関係機関、児童福祉施設、企業など社

会全体が一体となり、各種の啓発事業を展開して児童福祉の理念の一層の周知と児童を取り巻く諸問題に関する社会的関心の喚起を図ることとされています。

厚生労働省では、今年は、より一層、広報啓発に努めるほか、関係機関・団体と連携して、児童福祉の向上をめざした子どもが積極的に参加する新たな取り組みを展開します。また、期間中には、各地で児童福祉週間にちなんだ様々な催し等が実施される予定です。

## 新刊紹介

「for Region」  
(フォー・リージョン)

「地域づくりの」  
ネクストステージへ



本書は、東北電力が東北地方の代表的なシンクタンク・(財)東北開発研究センターに委託した「住民参加型地域活動(地域づくり)」に関する研究」の調査結果をベースに、日本全国の地域づくりに関する先進事例を中心としながら、地域のホットな話題をまとめたもの。様々な活動に真剣に取り組まれている方々の生の声と写真を織り交ぜ、「これからの地域づくり」について、東北地域にとらわれない幅広い情報を臨場感あふれる内容で発信している。

具体的には、地域づくりの事例紹介にとどまらず、秋田県出身の水中写真家・中村征夫氏(最近の作品「魚が恋する海」など)へのインタビューをはじめ、地域の魅力発見とユニークな活動を紹介する「ふるさとデザイナー」、美しい景観とアートの融合を支える人々にスポットを当てた「フォトエッセイ」、地域づくり事例の検証を行う「ダイナミック考現学」、さらに、地域の注目話題を取り上げた「トピックス」や「情熱体感コラム」、地域づくりのヒント「考えるコラム」などで構成。

また、本書のタイトル「for Region」(フォー・リージョン)は、「地域のために」を意味し、全国の様々な情報を紹介することにより、地域の魅力再発見と、一歩進んだ地域づくりへのきっかけとなるよう、願いが込められている。

企画・編集にあたっては、ベース

### 職員のための共済制度

#### ■住宅火災共済■

わずか60円(年額)の掛金で10万円を補償します。

#### ■自動車共済■

普通自動車が、わずか31,000円(年額)の掛金で、対人無制限・対物1,000万円の賠償額がてん補されます。

全国町村職員生活協同組合

となった研究調査結果の委託先である(財)東北開発研究センターや、研究の際、同センターに設置した「地域づくり研究会」の委員長・岡崎昌之(法政大学教授)の委員のほか、本書で紹介された地域の人々の協力を得ている。

企画・編集・東北電力(株)広報・地域交流部  
発行・(株)ぎょうせい  
定価・2,000円(税込)

情 報



東京財団 2005年度 市区町村職員 国内外研修プログラム 参加者募集

東京財団では、2004年度から、全国の市区町村に所属する職員（係長レベル）を対象とした国内外での研修プログラムを実施しています。2005年度（第2回）プログラムの参加者を以下の通り募集いたしますので、多くの方々のご応募をお待ちしております。

1、目的  
日本の市区町村の職員が、各自治体が抱える諸問題を大きな視野から体系的に把握し、それらを解決するための実践的手法についてプロジェクト研究を通して学ぶ機会を提供し、将来の幹部職員として地域社会の活性化を担っていく人材の育成に貢献することを目的としています。

2、研修内容  
早稲田大学およびポートランド州立大学（米国オレゴン州）において、環境、社会福祉、地域振興の3分野で、地方自治体が直面する課題に対する取組み方を具体的な事例研究を通して実践的に研修します。

3、実施期間  
2005年4月～9月の約5ヶ月間（東京3ヶ月、ポートランド2ヶ月）

この後、11月に行う総括合宿（数日間）にも参加していただきます。

また、米国での研修期間中は、フルタイムで職場を離れることができることが、参加の前提になります。

4、応募資格  
・日本の市区町村において係長の（あるいはそれに相当する）役職にある正規職員（年齢は原則として35歳～40歳）  
・研修の成果を将来地元自治体の発展に活かそうという意欲のある者

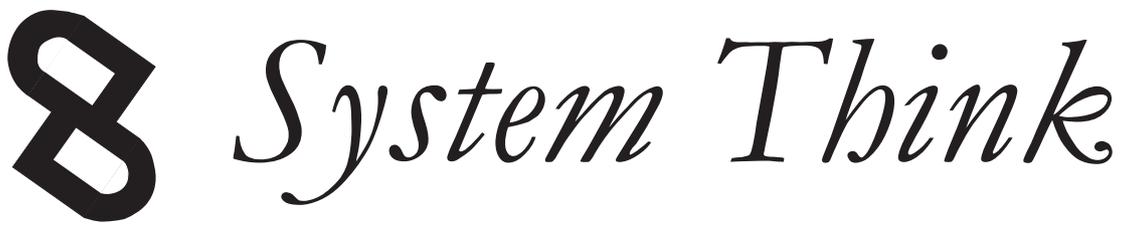
・所属する自治体の長からの推薦がある者  
5、募集定員 20名  
6、費用負担  
・東京財団負担費用  
早稲田大学での研修受講費、東京ノポートランド州立大学での研修受講費、米国滞在費ほか  
・参加者または所属自治体負担費用  
早稲田大学での研修期間（2005年4月初旬～7月中旬）および総括研修期間（2005年11月中旬）の東京での滞在費補助制度あり、地元から東京までの往復交通費（補助制度あり）、教科書書籍代、通信費、パスポート取得のための手数料ほか  
7、公募・審査日程  
・応募締め切り（消印有効）  
2004年9月30日  
・書類・面接審査  
2004年10月  
・結果発表（内定）  
2004年11月  
本プログラムの詳細につきましては、別紙募集要項および参考資料をご覧ください。

【問合せ・資料請求先】  
東京財団 奨学事業部  
【住所】  
〒107-0052  
東京都港区赤坂1-2-2  
日本財団ビル3階  
【電話】  
03-6229-5503  
【FAX】  
03-6229-5507  
【E-Mail】  
scholarship@tkfd.or.jp  
【URL】  
http://www.tkfd.or.jp/index.shtml

お役に立ちたい!!

システムシンクは自治体様の立場に立って一緒に考え、ものづくりを行います。自治体様の情報処理システムに関するコンサルティングから、システムの設計・製造、ネットワークの設計・構築、並びにそれらに関する運用・保守までトータル的なサービスをご提供致します。是非、ご相談ください。

事業サービス			パッケージ商品				
コンサル ティング	ソフトウェア開発		運用 保守	健康管理 システム	デジタル アルバム	セキュリティ 管理ツール	携帯電話 管理ツール
	業務システム	ダウンサイジング					



株式会社システムシンク  
〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田11F TEL:03-5434-7484 FAX:03-5434-0421  
http://www.system-think.co.jp E-mail:kst@system-think.co.jp

随 想

はつらつタウン・つきだて

随 想



宮 城 県 徳 島 市 宮 崎 町 千 葉 徳 穂

文化の香り高い心豊かなまち

文化の町とはどんな町か。その定義はなかなか難しい。書店が多いとか、神社仏閣、歴史を感じさせる遺跡がある町とか、はては銀行の支店

長の歓迎迎会を伝統的にやっているとか、さまざまであります。

築館町では、図書館をつくって貰いたいという要望が強かったのです。「文化の町にはどうしても図書館が必要だ」というのが合言葉となっていました。それが六年前、やっと実現しました。宮城県では町立の図書館は少ないのです。開館以来、七十万人に近い利用者があり、よかったですと思っています。

私どもの町は民衆詩派の詩人として有名な白鳥省吾の出身地であります。町では「白鳥省吾記念館」をつくり、この詩人の業績を讃えるため、数々の遺品や書籍等を保存、展示し、多くの参観者で賑わっています。この詩人の足跡を顕彰するため、平成十年に「白鳥省吾賞」を制定し、省吾が愛した自然、人間愛をテーマに自由詩を募集したところ、全都道府県は勿論、海外十三カ国から、過去五年で九、〇八五編の

町立図書館・記念館



応募がありました。この賞が全国から注目されることになったことは、たいへん喜ばしいことです。

私どもの町に「伊治城遺跡」があります。奈良時代、蝦夷征伐の前進基地であった伊治城の発掘調査の結果、昨年、国の史跡指定を受けました。今後は町の出土文化財センターを活用して、展示や研修を深めたいと思っています。

健康でしあわせに満ちたまち

築館町は「スポーツの町」を宣言しています。毎年「薬師マラソン」大会を催し、各方面から多数の参加を得て盛況です。また、宮城県北・岩手県南高校陸上競技大会を開いています。公認の競技場で、毎年新記録が出て、国体で活躍する選手の登竜門ともなっています。

私ども町は「ホッケー」の町でもあります。隣の一迫町と協力して、成人の部は一迫町、少年の部は築館町とし、両町とも人工芝のコートで新たに作り、宮城国体の際は、築館町の会場には、天皇、皇后両陛下のお出ましをいただき、記念すべき大会となりました。

築館町には行政区が四十あります。公民館の分館が三十七カ所あります。他にはない制度ですが、地域ごとに分館長を選んでもらい、行政区長とは別の立場で、地域づくりの役目を果たしてもらうという仕組みです。

分館には地区ごとに集会の施設が

あり、地区民の拠りどころとなっています。社会教育の立場から教養を高める行事やスポーツを盛んにするなど、行事の内容はさまざまです。

町民大運動会には、分館単位で競技に参加します。陸上競技場に各分館のテントを張り、優勝旗争奪に向けて、出場する選手、応援する地区民の声援は見事なものです。広く分布する行政区、この日だけは一カ所に集まり、町民が一体となって励まし合うこの行事は、素晴らしいものだと思っています。

自然が豊に息づく快適なまち

築館町にはラムサール条約の登録湿地「伊豆沼・内沼」があり、夏は蓮の花が咲き乱れ、湖面にはたくさん舟が観光客を乗せてにぎわい、冬は白鳥やがんが飛来して、多数の観察者が訪れます。町ではサンクチュアリセンターを設置して、無料で館内の展示物を見学することができ、ます。

この環境を保全する財団も組織されており、財団の提唱により春と秋のクリーンキャンペーンには、小学生からボランティアの方々まで数百人で清掃に当たっています。

私どもの町では上水道の未給水地区が四ヶ所ありましたが、水利権もようやく確保できましたので、本年から来年にかけて工事を行い、未給水地区の解消に尽くしていきたいと思っています。

## 情 報

## 政策リーダー

## 政策リーダー

PFIでアンケート調査  
まとまる 内閣府

内閣府は三月二十二日、「PFIに関する全国自治体アンケート調査」を取りまとめた。

PFI事業は、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行う新しい手法で、同事業を導入するための体制を整えた自治体は全体の二二%あり、平成十三年度の前回調査より七%増加した。

具体的には、PFIを検討している事業数は百一で、すでに導入が決まった事業と合わせると二三五事業に達し、検討されている一〇一事業について施設の種類をみると、文教・文化施設(学校、給食センター、体育館、プール等)(二三施設)が最も多く、次いで、「廃棄物処理施設」(八施設)、「観光施設」(七施設)、「公営住宅」(七施設)の順となっている。

また、前回との比較では、前回同様に「文教・文化施設」が最も多く、いわゆる箱ものといわれる「庁舎」が減少し、「廃棄物処理」、「医療」、「保健衛生」など、運営業務の比重の高い事業を検討する割合が増加している。

一方、PFIの導入に対し、「しばらく様子を見たい」とした自治体が、七〇・三%あり、その理由として、市町村合併を控え個別事業の検討に至らない、PFIの対象となる規模の施設整備等がない、財政上の問題、地域振興に向かないためなどを挙げている。

地方財政危機突破  
総決起大会を開催

全国町村会をはじめ地方六団体で構成する地方自治確立対策協議会は、来る五月二十五日に「地方財政危機突破総決起大会 真の三位一体改革の実現をめざして」を開催することとした。

地方財政は、地方交付税と臨時財政対策債を合わせて二兆九千億円の削減で対前年度比十二%の減で、平成十六年度の予算編成に深刻な事態を招いた。投資的経費に係る事業の先送りや人件費の削減等血のじむような経費節減に努めるともに、基金の取り崩しにより対応せざるを得ない状況となっている。

このため、同協議会では、現下の厳しい地方財政の窮状を踏まえ、地方六団体の総力を結集して、国の財政再建のためではなく、地方分権推進の趣旨に沿った真の三位一体改革の実現を目指す。「骨太方針二〇〇四」が示される前に、地方税財源の充実強化を求めて、関係方面に対して強く訴えることとしている。

大会には、全国の市町村長、都道府県知事をはじめ、地方公共団体関係者約七千人が出席予定。また、来賓として、内閣総理大臣、衆参両院議長、総務大臣の出席を要請している。

大会終了後には、大会の意義を取りまとめた「決議」により、地方六団体会長が内閣総理大臣等へ、また、出席者は地元選出国会議員へ同決議の実現を求め、実行運動を行うこととしている。

家畜伝染病予防法改正案  
閣議決定 農林水産省

政府は六日の持ち回り閣議で、鳥インフルエンザの防疫・まん延防止対策などを盛り込んだ家畜伝染病予防法改正案を決定した。

改正の趣旨は、高病原性鳥インフルエンザが発生した場合に、よりの確なまん延防止措置が講じられるようにするため、届け出義務違反に関する罰則規定の強化や移動制限命令に協力した畜産農家に対する助成措置の制度化等を行うもの。

改正では、疾病発生時の届け出義務違反に関するペナルティの強化として、同病発生の疑いが明らかであるにもかかわらず家畜伝染病のまん延防止に必要な措置を講じなかった養鶏農家に対し、家畜殺処分への補償金を支払わない、同病発生の届け出を怠った養鶏農家への罰則を「二年以下の懲役または百万円以下の罰金」に引き上げる。

また、移動制限に伴う農家の損失について、都道府県が売り上げの減少額や飼料費・保管費・輸送費等を助成する場合には、国が半額を負担する制度が新設されるほか、都道府県の防疫業務費用、患者や汚染物品等の処分費用について国が半額を負担することも盛り込まれている。

同改正案は、四月中の早期成立を目指すとしているが、感染ルートの解明などと併せ、効果の早期発現が期待される。

# ゆとりと やすらぎの 一体空間

静かでゆったりとした客室と  
一流ホテル(帝国ホテルグループ)  
との提携による上質なサービスにより  
皆様をお迎えいたします。



洋室ツイン



洋室シングル

## 土・日・祝日はリーズナブルに

土・日・祝日のご宿泊は  
平日料金の20%OFFでご利用いただけます。

金曜のご宿泊は  
平日料金の15%OFFでご利用いただけます。

ご家族の皆様方も割引料金でご利用いただけます。

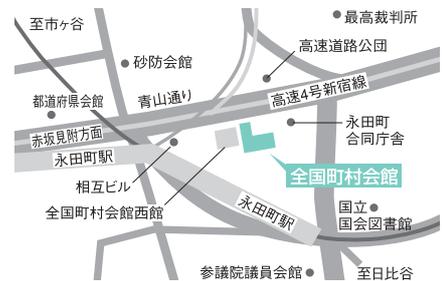
シングル 131室	ツイン 17室
平日料金 9,817円(税・サ込)より	平日料金 18,480円(税・サ込)より
土・日・祝日料金 シングル 7,854円(税・サ込)より	土・日・祝日料金 ツイン 14,784円(税・サ込)より

### 全国町村会館へのアクセスガイド

有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」3番出口徒歩1分  
丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩5分  
タクシー 東京駅から約20分

### 東京観光地へのアクセスガイド

東京ディズニーランド/地下鉄永田町駅からJR舞浜駅まで約34分  
浅草/地下鉄赤坂見附駅から浅草駅まで約27分  
東京タワー/地下鉄永田町駅から御成門駅まで約25分  
東京ドーム/地下鉄永田町駅から後楽園駅まで約10分  
東京都庁展望台/地下鉄赤坂見附駅から新宿駅まで約10分



市町村職員共済組合等の宿泊助成券がご利用いただけます。

ご予約・お問い合わせは

**全国町村会館** TEL:03(3581)0471 FAX:03(3581)0220  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号 <http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>